

医療福祉複合施設

にちこれ

nichikore

看護小規模多機能

ショートステイ

有料老人ホーム



医療法人 医王寺会

「過ごしたい場所で 最期まで暮らす」を 支える施設

「その人らしい日常」が
続いていくように。

にちこれは、医療や介護が必要になっても、
自分のリズムを失わずに暮らせるよう支援する場所です。

医療介護の管理下に置きすぎず、共に暮らすように。

特別なことよりも、
あたりまえの日常を丁寧に支えることが、
暮らしたい場所で人生をまっとうする力になります。

その静かな積み重ねが、
「ここで最期まで」と思える居場所をつくれます。

住所：松阪市立野町203

構造：木造一部鉄骨造 地上2階建

床面積：1F床面積 1027.321㎡

2F床面積 889.692㎡

施工会社：株式会社山口工務店

設計：安宅研太郎 / 株式会社パトラック

畑

入居者、利用者が営む畑です。
収穫物は味噌汁の具になるかも。

にちこれ nichikore

いおうじマップ

ビオトープ

小さな生態系を観察し
四季の移り変わりも楽しめます。

応急クリニック + 訪問事業所

必要に応じて、にちこれで
診察・医療処置を行います。

松阪よりみち珈琲

美味しいサンドイッチや珈琲が
あります。
希望者は働くこともできます。

住み慣れた場所

いおうじの訪問サービス

訪問診療／訪問看護／
訪問介護／居宅介護支援／
応急クリニック

- ・体調不良時に一時利用
- ・家庭環境の変化を受け止める
- ・家族に休息が必要な時

- ・施設内で関わっていた職員が、自宅でも関わる
- ・在宅生活に適した医療処置や介護の方法を検討した上で帰宅

にちこれ nichikore

看護多機能／
ショートステイ／
有料老人ホーム

- ・より高度な治療を受けるために病院と連携

- ・病院から医療処置・リハビリや家族間の話し合いを引き継ぎ早期退院

急性期病院

リハビリテーション病院等

※外部の提携病院等



にちこれで
できる暮らし



看護小規模
多機能

「訪問・泊まり・通い」
組み合わせて使える
介護サービス

訪問看護介護、デイサービス(日中の通いの場)、
ショートステイ(短期間の宿泊)が一体となった
サービスです。

その人の日々の状態に合わせて、臨機応変に**3つ
のサービス**を組み合わせることが可能です。

1ヶ月の間に、**家庭環境や健康状態が変化しやすい方**におすすめです。

概要	
・ 登録定員：29 名	・ 類型：共生型
・ 短期入所定員：9 部屋 / 1 日	・ 料金：別紙参照
・ 通所定員：18 名 / 1 日	



ショート
ステイ

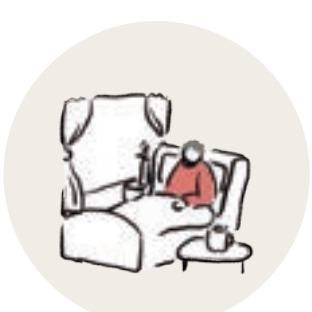
退院後や一時的な介護に。
短期間の宿泊サポート

家で過ごししながら、定期的・短期的に宿泊する
ことができる施設です。

退院後、**家にすぐ帰るのが心配**な方が、医療処
置や生活の練習をして、家に帰るのに備えること
ができます。

家族が働いていたり、リフレッシュが必要な方
におすすめです。

概要	
・ 部屋数：15 部屋	・ 料金：別紙参照
・ 居室面積：14.26 ～ 15.64 平米	
・ 類型：ユニット型、共生型	



有料
老人ホーム

自宅での生活が
難しくなった方へ。
暮らしの場を移す選択肢

自宅での生活が困難になった方が、自宅から引越
しすることができます。

一度入っても**自宅への復帰や一時帰宅が可能**
です。そのため、入居一時金はありません。

自宅よりも近い境遇の方が多くいる場で過ごし
たい方や**より苦痛を取るための専門的なケア**を
必要とする方におすすめです。

概要	
・ 部屋数：15 部屋	・ 料金：別紙参照
・ 居室面積：14.26 ～ 15.64 平米	
・ 類型：住宅型	

受け入れ可能な事例



医療処置が必要だが
自宅に退院したい方

自宅へ退院する前に、一旦にちこれで
退院してくることで、利用者や家
族が医療処置等の練習をすること
ができます。



自宅で
暮らし続けたい方

医療介護が必要になっても自宅を
中心に医療や介護を受けたい方。
自宅で肺炎になってもにちこれに
来て専門職が近くにいるところで
治療を受けることができます。



独居や主介護者が
忙しい方

家で介護が必要だが、家族が多忙
で介護を受けられるかどうか日々
不安定である方を、臨機応変に対
応します。



苦痛をとる為の
専門的なケアが必要な方

がんや心不全等の慢性期疾患によ
り、苦痛がある方の緩和的ケアを
より専門的に行っていきます。



医療的ケアが必要な
子どもや成人者

高齢者だけでなく、医療的ケアが
必要な子どもや成人者も利用でき
ます。



入居施設を利用したいが
面会は頻回行いたい方

施設入所となっても、制限するこ
となく本人と親しい人が会い続け
ることができます。

にちこれが できるまで

医王寺会は、在宅サービスを通して
様々な理由で、
「家に帰ることができないが、
自宅で最期を迎えたい」方々と出会いました。
この声に応えるために、
“にちこれ”の企画が動き出しました。

2017年

いおうじ応急クリニックの応急外来で出会った
「最期は自宅で過ごしたい、親を自宅で看取り
たい」という家族の声を聞き、在宅医療の必要
性を感じ、訪問診療を開始。

（その後、訪問看護、介護、居宅介護支援事業も開始）



2018年

在宅サービスを行ううちに、住み慣れた自宅で
過ごす事は、人に「笑顔」と「生きる力」を与え
ることを知ると同時に、今の事業だけでは自宅
に帰ることや過ごし続けることを支えること
が困難な方がいることがわかり、“にちこれ”の
構想を開始。

2023年

診療所を立野町へ移転。パチンコ屋の跡地を
診療所へ。松尾地区自治会や住民自治協議会
の皆様と議論を重ね『にちこれ』構想がより
詳細に。

過ごしたい場所で最期まで過ごすことを支え
る施設“にちこれ”の構想が、全国的に先進的な
提案だとして日本財団みらいの福祉施設建築
プロジェクトに採択。



2026年 にちこれ開業。

life in your own tempo

医療介護のリズムから、 あなたのリズムになるための暮らし



各所に大切な人と一緒に過ごすことができるミニキッチンなどの団樂の場がある



建物の工夫により、ほぼすべての居室で
感染症流行時も面会し続けることができるような設計になっている



タバコやお酒等の嗜好品を禁止することはありません
家での生活をなるべく続けられるように



入居者・利用者を主体とした
活動を行います。

01. 大切な人と会い続ける

02. 自分らしく生活できる

03. 寝たきりでも変化のある生活



自慢の庭には、車椅子やバギーでも出ることができます。
どんな状態でも風を受け光を浴びることができる環境



寝たきりで上を向きながら移動しても
変化を感じることができる
天井のしつらえ

04. 最期の時をタブー視しない



介護スタッフだけでなく、
そこに住まう入居者同士もそれぞれの生き様から学びます。

不安の伴うことだから、対話の時
間を多くとります



05. 役割がある



誰かの話し相手になる、ご飯をよそう、畑をする、駄菓子屋で子どもたちの面倒をみる。



にちこれを利用して「介護を受ける人」を押し付けられることはありません。介護を受けながらも役割を得ることができる。



06. 一人一人のリズムを大切に空間



新しい生活への不安を和らげる建築

ドーナツ型の建物は、内側からも中側からも温かな光を入れてくれます。全体をみると大きい施設ですが、空間は丁寧に細かく区切られ、1人になれる場所、団樂できる場所、賑わいのある場所と利用者の気分に合わせて場所を選ぶことができます。

設計：安宅研太郎 / 株式会社パトラック



手に触れるからこそその工夫

職人の手で丁寧に作られた家具は、触っているだけで癒されます。オリジナルの家具は、介護が必要になっても座りやすく立ちやすいことを意識した独自の設計です。

机製作：吉川和人 / 森へ行く日
椅子製作：ウッドワークス松原

大切な人と 話しておきたいこと



人は誰にでも最期が訪れます。

終末期において、本人が希望する生活や、受けたい医療・受けたくない医療について事前に話しておくことで、医療やケアを選択する際に重要な手助けになります。

送りたい生活や受けたい医療をその場で決めなければならないわけではなく、話し合う過程の中で、本人と関係者の思いを共有することが重要です。

そのため、いつ話しても早すぎるということはありません。

話しておくの良いこと

- ・ 終末期（身体機能や認知機能の低下を伴う）に、どのような生活をしたいか
- ・ どんな治療をどこまで受けたいか、どんな治療を受けないか
- ・ 最期までやりたいことは何か
- ・ どこで誰と最後まで過ごしたいか
- ・ 言語表現が難しくなった時に、代理で意思を尊重してくれる人は誰か
- ・ 本人の今までの経験や大切にしてきたこと

など



話せなくても 想像してみる



推定意思

認知症があって話が通じにくいから、言葉を交わすことができないから、その人の最期を大切にできないわけではありません。日々の細かい情報やこれまでの生き方を参考に本人の意思を想像してみましょう。

・ 表情が和らぐのはどんな時か

体を拭いた時、口にもものを入れたとき、声をかけた時に、家族や親しい人にしか気付けないような表情が和らぐ瞬間はありませんか。

・ 強く嫌がる行為はないか

人は“これがしたい”の表現が難しくなっても、“これは不快である”という表現は残りやすいです。手を振り払うなどの行為からもその人の意思が想像できます。

・ 過去の行動にヒントはないか

過去の医療との付き合い方や「迷惑をかけたくない」「役に立ちたい」などの性格的な情報からも推定意思を想像できるかもしれません。

ぜひ、「本人ならこのように言うと思う」という
皆さんの知っていることを教えてください。





医療福祉複合施設

にちこれ nichikore

〒515-0054 三重県松阪市立野町203

☎ 0598-31-3481 (訪問診療部)

看護小規模多機能 / ショートステイ / 有料老人ホーム



にちこれこうじつ
日日は好日——「どんな日もかけがえない良い日である」
という意味を持つ禅の言葉から名付けました。

「にちこれ」は、1日1日を大切に、目の前にいる人の思いに寄り添いながら、
生活を整えるための丁寧なケアと医療を提供する複合施設です。